

令和元年十月吉日

家庭に関する学科等で学ぶ生徒の進学機会の拡大等についての要望書

全国高等学校長協会家庭部会

理事長 日向野 勝

同 進路調査研究委員会

委員長 岡島 まどか

家庭に関する学科等においては、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、知識・技術の習得はもとより、学習の定着をより確実にするため、公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による家庭科技術検定(被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定)などにも取り組んでおります。このような中、高等学校で身につけた知識・技術をさらに高めるため、また、より高度な資格を取得するため、専修学校への進学を希望する生徒が多数おります。

しかしながら、経済的な理由で、進学を断念したり、入学後の学業に専念できない生徒も少なからずいたりすることなどから、その環境改善を切に願うものであります。

つきましては、進学機会の拡大等に向けた環境整備など、左記の事項について特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

- 一 家庭科技術検定などの家庭に関する学科等で学んだ学習成果に応じて、入金・授業料等の減免や奨学金の貸与等、経済的優遇措置の一層の拡充。
- 二 入学者選抜において、出願資格・条件のひとつに、家庭科技術検定を明記するとともに、その成果や課題研究・学校家庭クラブ活動等の実績を尊重・重視した評価の導入並びに一層の推進。

以上の二項目につきまして重点事項として要望いたします。